Annual Report 2025

まちづくりへの参加につながる場から

2025 年度 藤沢市市民活動支援施設 アニュアルレポート

発行／ 2026 年 8 月　藤沢市市民活動支援施設

藤沢市市民活動推進センター
〒251-0052 藤沢市藤沢 1031 アーバンセンター藤沢 2F
電話：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516

藤沢市市民活動プラザむつあい
〒252-0813 藤沢市亀井野 4-8-1 六会市民センター 2F
電話 /FAX：0466-81-0222

支援施設ウェブサイト
https://fujisawa-npo.jp/

藤沢市市民活動支援施設
（藤沢市市民活動推進センター・藤沢市市民活動プラザむつあい）

トピックス　topics

年次目標　**発揮　- 市民力が発揮できる環境をつくる -**

本年度の年次目標である「発揮」は、市民活動支援施設として、市民や団体が持つ力を引き出し、それが地域で活かされる環境を整えることを目的としています。

市民力が発揮される環境づくりを進める中で、団体同士、行政、企業、大学、市民が自然につながり合う機運が高まりつつあり、2026 年度以降の展開に向けた手応えを得ることができました。そんな本年度の様子を 4 つの柱に分けて紹介いたします。

柱 1　施設の管理・運営

打ち合わせや交流などのための場所の提供、印刷機や各種備品の貸し出しをしています。

柱 2　学習・交流の機会

講座やイベント、交流会などを通じて、知識・事務スキルの向上、交流機会の提供を目指しています。

柱 3　相談・コーディネート

市民活動やボランティアを始めたい方、助成金を利用したい団体等の相談に乗っています。

柱 4　情報の収集・発信

助成金情報やイベント情報、ボランティア募集情報などを収集・発信しています。



藤沢市市民活動推進センター

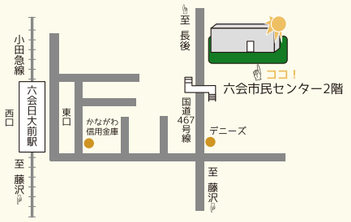
住所：藤沢市藤沢 1031　アーバンセンター藤沢 2F
TEL：0466-54-4510　／　FAX：0466-54-4516
E-mail：f-npoc@shonanfujisawa.com
開館時間：9 時～ 22 時まで（日・祝は 20 時まで）
休館日：火曜日（火曜日が祝日の場合は、その翌日）





藤沢市市民活動プラザむつあい

住所：藤沢市亀井野 4-8-1　六会市民センター 2F
TEL・FAX：0466-81-0222
E-mail：f-npoplaza@shonanfujisawa.com
開館時間：9 時～ 17 時まで
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）



2025 年度のハイライト　highlights







藤沢の市民活動の未来を考える　～みんなでディスカッション～

第 5 期藤沢市市民活動推進計画の策定に向けて、支援施設の利用者をはじめとする市民の方から、「藤沢の市民活動」を切り口に幅広くご意見を伺う意見交換会を 8 月 2 日（土）に実施しました。

10 代から 70 代までの総勢 43 名の方にご参加いただきました。参加者の方からは「様々な視点の意見が聞くことができて楽しかった」、「普段接することがない方とつながれる機会になって有意義な時間になった」、「毎年開催してほしい！」といった声が寄せられました。

意見をまとめたグラフィックレコーディング（上）／
参加者から出た意見をまとめている最中（左下）／意見を書いている様子（右下）







藤沢の市民活動大交流会～市民会館に感謝を！～

藤沢市民会館が 2026 年 4 月から休館・再整備を迎えるにあたって、感謝を伝えるとともに、市民活動を担い支えてきた団体の表彰や PR・交流会を 2 月 18 日（水）に実施しました。

武蔵大学 社会学部長・教授 粉川一郎 氏による話題提供や市民活動団体 PR 発表やアワード企画、NPO クイズ、交流タイムなど設け、当日は総勢 160 名と、大勢の方にご参加いただき大盛況の会となりました。

サポーター表彰（左上）／話題提供（右上）／ NPO クイズ（下）



市民センターとの連携事業

市民センター等のニーズに応えて、講座の実施や講師となる団体の派遣、依頼元施設のサポートなどを行っています。実施内容は IT 関連、SDGs、人権講座などをはじめ、施設・登録団体によって多岐にわたる支援サービスを提供しています。

本年度は長後市民センターでのボランティア相談会及び第 4 回長後ボランティアまつりへのブース出展、六会市民センターと共催講座の開催、藤沢市民センター・片瀬市民センター・遠藤市民センター・善行市民センターにて「スマホ講座」などの講座を実施しました。

「ボランティア入門講座 in 村岡市民センター」（2 月 15 日（日））当日の様子

柱 1　施設の管理・運営　facility

支援施設である「藤沢市市民活動推進センター（以下、推進センター）」、「藤沢市市民活動プラザむつあい（以下、プラザむつあい）」は、公益的な市民活動の推進や市民活動団体の自立化を応援することを目的に藤沢市が設立した施設です。現在、認定 NPO 法人 藤沢市民活動推進機構が指定管理者として管理運営を行っています。活動のための打合せや作業、情報収集、他団体との交流の場としてご利用いただけます。

藤沢市内では、皆さんの生活をより良くするため、たくさんの NPO・市民活動団体が活動をしています。支援施設には法人格なし（任意団体）と法人格あり（特定非営利活動法人、一般財団法人、一般社団法人、公益財団方針、公益社団法人）の団体が 376 団体（2025 年度末時点）登録しています。

利用案内

詳細は利用案内をご覧ください。

https://fujisawa-npo.jp/wp-content/uploads/2025/04/riyouannai202504.pdf

柱 2　学習・交流の機会　learning/exchange

団体の運営力向上に資する講座、地域課題を共有する学習機会、市民が気軽に参加できる交流イベントなど、多様な事業を展開しました。特に、デジタル活用や組織運営に関する学びの場は、団体の基盤強化に寄与し、活動の幅を広げる契機となりました。また、交流の場では、団体同士が互いの経験を共有し、協働の芽が生まれる場面を見ることができました。

マネジメント講座

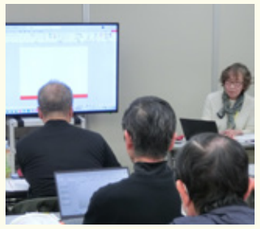
市民活動に関する学習機会の提供として「ボランティア活動入門講座」（計 2 回）、「NPO の組織運営講座」、「NPO のための AI 活用講座」、「NPO の会計実務相談会」を実施しました。

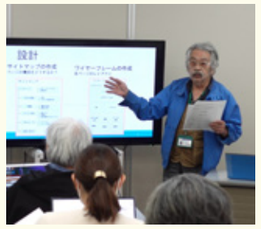
夜活フジサワ

夜活フジサワとは、日中に仕事をしている方などが仕事終わりにも参加できることを目的として、2024 年から実施しています。今年度は「寄付と活動資金の話をしよう」をテーマに実施し、20 名の方が参加されました。

IT サポート講座

パソコンを用いた事務能力の向上を目指し、Word 講座（全 2 回）、Excel 講座（全 2 回）、Windows 講座、Google 講座、PowerPoint 講座（全 2 回）、ホームページ作成講座（全 2 回）を開催しました。


らくらく PowerPoint 講座



らくらくホームページ作成講座

交流機会の提供

NPO 法人の「基盤強化伴走応援プログラム」事例紹介と交流の場の提供、藤沢市民まつりにて「ふじさわ NPO 横丁」のブース出展、団体の「組む力」協働入門講座などを実施しました。


NPO 法人のための交流と学びの場


ふじさわ NPO 横丁

プラザ de カフェ

「時短レシピでおうちごはん」、「チョコレートのひ・み・つ♡」、「心を整える ルーティン」、ふるさとまつりでの「こねこねせっけんづくり」など、全 5 回開催しました。


時短レシピでおうちごはん♪


こねこねせっけんづくり

プラザ de 学ぶ

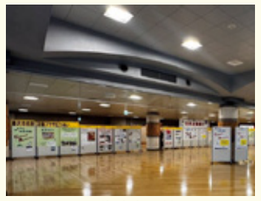
市民活動に関する学習機会の開催として、「団体・活動に関わりたくなるヒント」、「AI ことはじめ」、「AI ことつづき」の 3 回を開催しました。


団体・活動に関わりたくなるヒント


AI ことつづき

パネル展示

湘南台駅地下及び藤沢市役所でのパネル展示では延べ 44 団体が参加しました。湘南台駅地下の展示参加団体によるトークイベントに約 100 名の方にご参加いただきました。


湘南台駅地下


藤沢市役所

外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台

4 つの団体が協力し、当日は 132 名の参加があり盛況裏に終了しました。※本事業は湘南台市民センターとの連携事業として実施しました。


外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台

地域でつながるワカモノ ×NPO インターンシッププログラム

市民活動団体で高校生～大学院生までのインターン生（ワカモノ）が活動を行うプログラムです。施設として団体のマネジメント能力の向上等につながる事業を実施しています。団体とワカモノ及び団体同士の顔合わせの場の提供や、受入のための計画やワカモノとの接し方等、必要に応じて個別にサポートを行いました。

プログラム概要

対象：受入団体　神奈川県内で活動する NPO・市民活動団体
　　ワカモノ　高校生～大学院生
参加者：10 団体　ワカモノ 11 名
活動期間：2025 年 7 月 13 日（日）～2026 年 2 月 28 日（土）


オリエンテーション


受入団体座談会



団体募集チラシ



活動報告書


活動の様子 1


活動の様子 2

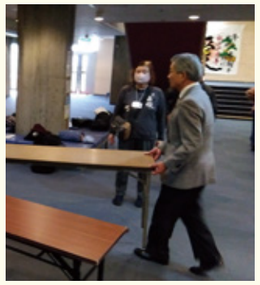
柱 3　相談・コーディネート　coordination

対面での活動が本格的に戻ったことで、団体の活動再開や新規事業の立ち上げに向けた相談が増加しました。私どもは、団体の状況に寄り添いながら、活動計画の整理、運営体制の見直し、広報手法の改善など、実務的な支援を行いました。また、活動の成果だけでなく、プロセスを共にする姿勢を重視し、団体が「伴走してもらえた」と実感できる支援を心がけました。

サポートクラブの活動

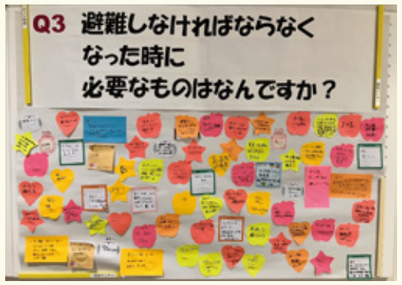
支援施設サポーター 207 名が施設内の活動（封入や大掃除など）の他、支援施設の登録団体・利用団体の活動現場（2 件）に出張してサポートをしました。コンサートの当日スタッフとして会場設営などの活動を行いました。


大掃除の様子


コンサートの会場設営の様子

「赤ちゃん防災」ワークショップ

「令和 7 年度 第 57 回藤沢市社会福祉大会 & 地域福祉プラザハートフルデー」内にて、「赤ちゃん防災」について考えるブースを出展しました。214 名の方がブースに立ち寄り、3 つの設問に延べ 177 件の意見が集まりました。



集まった意見

NPO 見本市 in 秋葉台

「地球と暮らす・私たちのできること」をテーマに開催している第 50 回藤沢市民まつり遠藤・御所見エリア（秋葉台会場）に、登録団体のうち 9 団体が出展しました。

自然豊かな会場で、SDGs クイズや謎解きラリー、SDGs に呼応する内容で活動の PR を行いました。

相談対応

市民活動に関するご相談があれば受け付けています。本年度は下記の件数、ご相談がありました。

個人・組織（企業・教育機関・各種団体など）を問わず、対応させていただきますので、支援施設までお気軽にご相談ください。

延べ相談件数　589 件

相談員・職員による	447 件
協働コーディネーターによる	135 件
アドバイザーによる	7 件

アドバイザー相談

税務相談 5 件、法務相談 1 件、労務相談 1 件の相談がありました。

ボランティア活動や市民活動には、団体活動継続に向けた様々な課題が発生することがあります。税金・会計・雇用・契約・各種保障などのリスクに備える専門的な知識が必要となることも多く発生します。

支援施設では、活動の安全安心を担保するために弁護士や税理士、社会保険労務士をはじめ、15 種 16 人の専門家にサポートを依頼しています。第 1 回目の相談には費用は掛かりません。お気軽にご相談ください。


パンフレット

柱 4　情報の収集・発信　information

来館、FAX、メールなどでお寄せいただいた情報は、施設内の情報ラックに配架しました。団体のチラシやイベント情報、助成金情報など、常時 100 件近くの情報を掲示しました。また、藤沢市のデジタルサイネージでも情報提供しました。SNS 紹介チラシの作成や SEO 対策に力を入れ、市民の皆さまから注目を浴びる結果となりました。

情報収集発信数など

収集情報：2,806 件　　**情報提供数：5,264 件**

ウェブサイトアクセス数　108,282 PV（前年比 166.02%）

検索キーワード「藤沢市　ボランティア」　2 位


SNS 紹介チラシ


ウェブサイト

情報ラック

施設内の情報ラックにて掲示した情報は年間で 910 件となりました。日々様々な方にご覧いただいています。



推進センター


プラザむつあい

ボランティア情報誌「VOLUNTEERS」

ボランティア募集情報をまとめた情報誌で年 2 回発行しました。学校や商業施設、駅、マクドナルドなどに配布しています。



2025 年夏号



2025 年冬号

詳細はこちら

ウェブサイト・SNS

支援施設ウェブサイト
https://fujisawa-npo.jp/

支援施設 note
https://note.com/fujisawa_npo

推進センター X（旧 Twitter）
@f_npoc

2025 年度活動実績　achievements

支援施設全体			推進センター			プラザむつあい		
利用件数	延利用者数	登録団体数	利用件数	延利用者数	開館日	利用件数	延利用者数	開館日
9,327 件	26,176 人	376 団体	7,839 件	22,883 人	307 日	1,488 件	3,293 人	305 日

※2026 年 3 月 31 日現在

次年度に向けて　resolution

2026 年度は重点目標「連携」に向け、今年度の成果を土台として、多様な主体が協働し、市民がまちづくりの中心として活躍できる環境づくりをさらに推進してまいります。加えて、OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）に伴い、市民活動推進センター本館の移転が予定されています。これを機に、今後の市民活動を支えるために必要な機能や、協働を促す仕組み・設備の在り方を見直し、地域に開かれたより良い拠点のあり方を考えてまいります。